

昭和24年1月26日に現存する世界最古の木造建造物である法隆寺(奈良県斑鳩町)の金堂が炎上して壁画が焼損したことに基づいて毎年1月26日は「文化財防火デー」になりました。この時期に寒さが厳しくなるとともに一段と大気の乾燥が続き火災が起こりやすくなります。今号では防災の基本の基本をQ & Aで解説します。



平成28年中の東京消防庁管内の住宅火災による死者数は61人とデータがありますが、住宅火災の発生要因の上位3位を教えてください。



こんろ、たばこ、ストーブが住宅火災の上位3位の原因でした。この3つの火災防災のポイントは以下のとおりです。

■こんろによる火災

●特徴

着衣への着火により、火災による死者が発生しています。

●事例

ガスコンロの奥に置いてあるものを取ろうとして手を伸ばしたところ、袖口にガスコンロの火が燃え移ってしまったため、火災となった。

●こんろ火災防止ポイント

- ・調理中に離れない。
- ・周囲に燃えやすいものをおかない。
- ・防災製品のエプロンやアームカバーを使用する。
- ・火が鍋底からはみ出さないように調節する。
- ・安全機能付きのコンロを使用する。





■たばこによる火災

●特徴

たばこの火種の布団類等への落下により、火災による死者が発生しています。

●事例

飲酒後、布団の上で喫煙し、たばこの火種が落下したことに気付かずに就寝したため、火災となった。

●たばこ火災防止ポイント

- ・寝タバコは絶対しない。
- ・飲酒、喫煙、うたたねに注意。
- ・吸い殻を灰皿にためない。
- ・吸い殻は水で完全に消してから捨てる。
- ・火だねを落とさないよう安全な場所で喫煙する。



■ストーブによる火災

●特徴

電気ストーブに可燃物が接触することによる火災で死者が発生しています。

●事例

居住者は、電気ストーブを付けたまま就寝してしまい、掛布団が電気ストーブに接触したため、火災となった。

●ストーブ火災防止ポイント

- ・周囲に燃えやすいものを置かない。
- ・外出時、就寝時には必ず消す。
- ・洗濯物を乾かすために使用しない。
- ・石油ストーブ等は必ず消してから給油する。



住宅火災を防ぐ住宅防災機器を紹介してください



●防災製品を使いましょう。

防災製品は、火が接触しても着火しにくく、燃え広がるのを防ぎます。

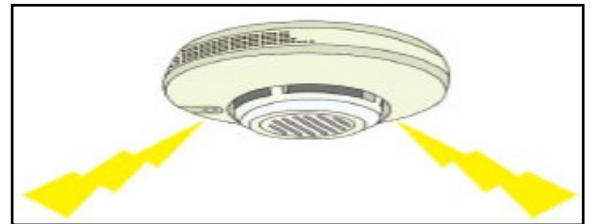
防災製品には、寝具類、エプロン、アームカバーなどがあります。防災製品には右のように性能を表すマーク（防災製品ラベル）が付いています。



●住宅用火災警報器を設置しましょう

火災が起きた時、いち早く気付くことが防災ではとても重要です。住宅用火災警報器は、火災の煙や熱を早期に感知して警報音などで知らせます。

東京消防庁管内では条例ですべての住宅の全ての居室・台所・階段に住警器の設置が義務付けられています。設置していない方は、早期に設置しましょう。



●家庭でも消火器を備えましょう

消火器による初期消火は、火災の被害の抑制に非常に効果的です。

消火器には、一般住宅向けの小型で軽量の住宅用消火器や片手で簡単に使用できるエアゾール式簡易消火具もあります。いざという時に備え、防災訓練に参加し、消火器の使い方を身に付けましょう





住宅火災チェックシートがあるようでしたら紹介してください。



火災予防チェックシート

①放火

- ・家のまわりに死角不用品や燃えやすいものを置いていないか
- ・建物または敷地への出入口の管理(施錠等)は徹底されているか
- ・郵便物は溜めずに取り込んでいるか、洗濯物は干しっぱなしにしていないか
- ・ゴミは決められた日以外出さないようにしているか

②コンロ

- ・コンロのまわりに燃えやすいものを置いていないか
- ・コンロの使用中にそばを離れる場合は必ず火をけしているか
- ・ガスホースは劣化していないか、接続は適正にされているか
- ・コンロの位置(動かせるもの)は壁や物に近すぎないか
- ・換気扇は掃除されているか
- ・近くに消火用具は設置してあるか

③タバコ

- ・寝タバコをしていないか
- ・灰皿に吸殻が溜まっていないか※努めて水を入れておきましょう
- ・吸殻は完全に火が消えているか※捨てるときは水につけてから

④電気

- ・使用しているコンセントにほこり等が付着していないか
- ・タコ足配線はしていないか
- ・電気ランプ等、熱をもつ電気器具の上でタオル等を干していないか
- ・壊れた又は壊れそうな電気器具を使用していないか※コードの劣化等

⑤ストーブ

- ・カーテンや家具等、燃えやすい物の近くにストーブを置いていないか
- ・ストーブの上に洗濯物をほしていないか
- ・ストーブに給油するときは、必ず火を消してから行っているか
- ・給油する燃料はまちがいないか

⑥焚き火

- ・風の強いとき、乾燥しているときに焚き火をしていないか
- ・焚き火をするときは周囲の安全確認及び消火の用意をしているか
- ・子供だけでしていないか

⑦その他

- ・マッチ、ライターを子供の手の届くところに保管していないか
- ・消火器等の消火用具は使える状態に整備、点検しているか

参考・引用：東京消防庁「火災予防」を編集し引用しました。
<https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp/ts/sa/fire.html#fi01>